

右派とナショナリズムー愛国とは何か

講師 杉原悠人 『月刊日本』編集委員

戦後日本における右派／左派とは何を意味するのか。

民主主義を標榜する日本における、現代のナショナリズムとは？政治思想の輪郭がますます不明瞭になり、根拠の見えないレッテルの応酬によって分断が進行するいま、わたしたちはどこへ向かうのか――。

〈プロジェクト_残丘〉第三弾は『月刊日本』編集委員の杉原悠人氏をゲストに、議論します。

とき) 2017年11月3日(金/祝) 午後6:00~7:30

ところ) 新井卓写真事務所

横浜市営地下鉄阪東橋または京急黄金町から徒歩5~10分

定員) 25名/要予約/ 1,000円(高校生以下無料) ※資料『月刊日本』を購入の場合200円引

予約ページ) http://takashiarai.com/events/booking-project_monadnock-session-02/

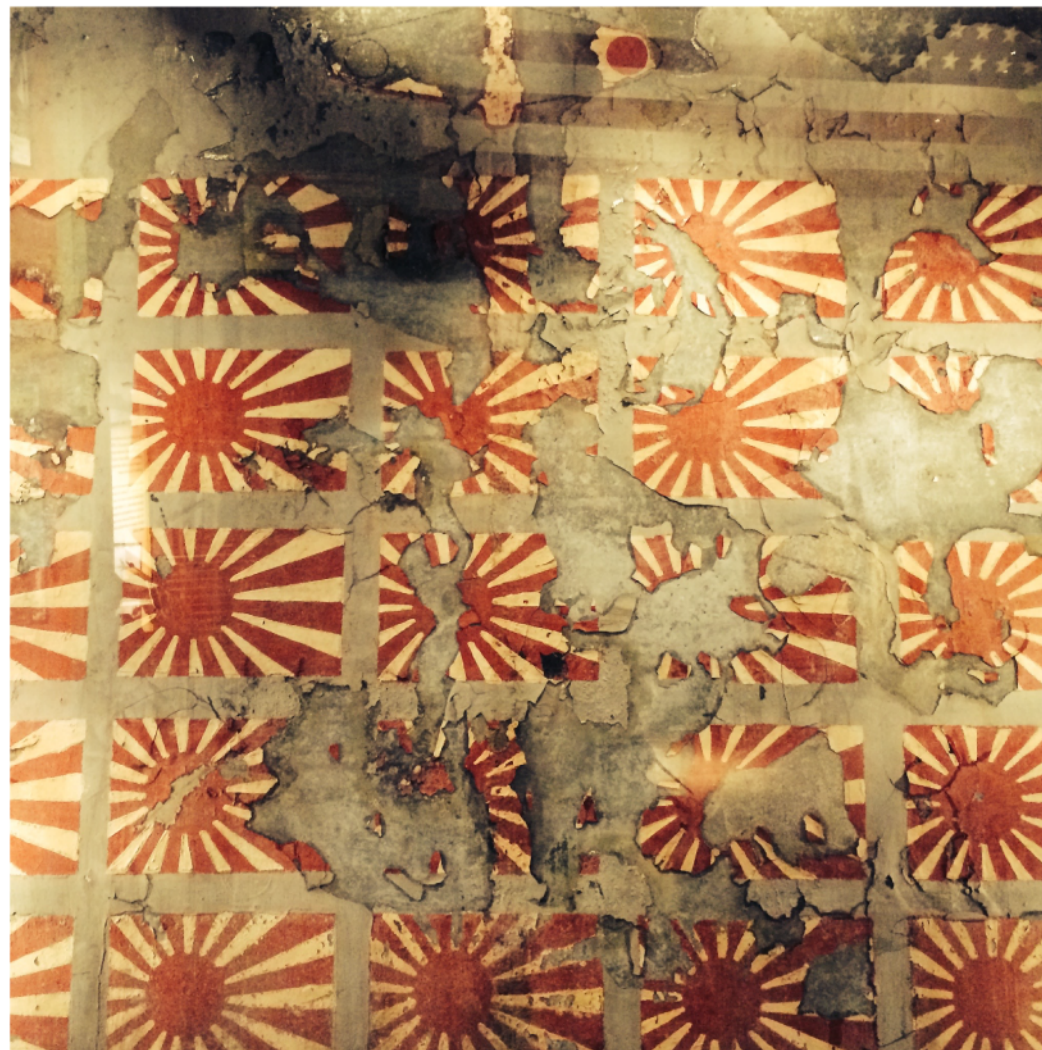
【略歴】杉原悠人(すぎはら・ゆうと)

編集者。昭和62年東京都生まれ。学習院大学卒業後、(株)ケイアンドケイプレス勤務。オビニオン誌『月刊日本』編集委員として、言論活動に携わる。

『月刊日本』(げっかん・にっぽん)

平成9年創刊の右派言論誌。①わが国の縦軸としての歴史認識の再構成、②日本国憲法の徹底的な見直し、③根本的・構造的なマスコミ批判を編集方針に掲げ、対米自立を主張している。米エール大学では、『月刊日本』を『文藝春秋』とともに「今の日本を知るために重視する雑誌」として創刊号から全巻を揃え、その言論を警戒している。

<http://gekkan-nippon.com>



National Museum of the Pacific War, Fredericksburg, Texas. Takashi Arai. 2014.

PROJECT
MONADNOCK

●新井卓写真事務所では「プロジェクト_残丘」と題して、完全自主企画のレクチャー、展示、上映会、対談などをランダムに開催し、日本社会におけるマイノリティやタブーとされてきた思想・文化について多様な視点から知り、考える場を提供しています。毎回登場するゲストは、芸術家や作家をはじめ、批評家、研究者、編集者、活動家など多岐にわたります。ますます深刻化する社会の不寛容や無関心に対して、わたしたちはどう闘えばよいのか？ひとりずつ考える小さな手がかりを探します。